

【会議要録】

令和6年度 第2回小郡市スポーツ推進基本計画策定委員会

日時：令和6年11月7日（木）10時03分～11時18分

会場：小郡市野球場 会議室

開会の宣言：事務局が出席者そろった時点にて開会宣言、資料の確認

出席者：（全委員15名、事務局5名）

1 委員長あいさつ

第1回策定委員会に引き続き、皆さまから率直な意見を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2 議題

（1）第2期小郡市スポーツ推進基本計画（案）について

事務局：資料をもとに説明

第1回委員会時（案）からの修正・追加について

P 6 一般アンケートからの課題①～⑥

P 17 小・中学生アンケートからの課題①～③

P 18 団体アンケート結果

P 21 基本理念「暮らしの中にスポーツが息づき、健やかさとつながりが生まれるまち・おごおり」

P 24 基本施策

具体的施策 令和7年度からの施策（毎年度更新）

質問① 委員：「行政区」と「区」の表記が混在しているので、どちらかに統一した方が良い。

⇒回答 事務局：区に統一する。

質問② 委員：P 6「以上の5点・・・」を6点に修正する必要がある。

⇒回答 事務局：修正する。

質問③ 委員：人口、高齢化率の移り変わりについて、グラフがあった方がよいのでは？

⇒回答 事務局：上位計画である第6次総合振興計画に人口について分析があるので本計画では省略しているが、検討する。

質問④ 委員：「スポーツ」の表記と「スポーツ・レクリエーション」の表記の違いに意味があるのか？

⇒回答 事務局：スポーツの定義を冒頭に持ってくるなど検討する。

質問⑤ 委員：部活動の支援について、どんなことがあるか？地域の人材育成、人材バンクなどあるか？

⇒回答 事務局：学校側から声をあげてもらいたい。現場の声が聞こえてこない。人材育成とは地域におけるお世話係のことであり、増やしていきたい。

⇒委員：現在の状況であるが、部活動、学校生徒、保護者にアンケートを取った。中体連・理事会ではソフトボールを令和7年度に地域移行する。横への広がり、個々の先生に話をしている状況である。

⇒委員：県としても進んでいかない、市町村に連携をお願いしたい。意見を吸い上げていきたい。

⇒委員：先生が指導者でもよいか？

⇒委員：教職兼業できる。

⇒委員：部活動と地域クラブチームが連携するとよい。

質問⑥ 委員：柱2では、地域において、こういう人がいるんだとつながりが出来るとよい。つながる方法があれば聞かせてほしい。

⇒回答 事務局：スポーツフェスタに外国人を招いて、モデルケースを作りたい。地域でも外国人に声をかけて、広がるとよいと考えている。クロスロードスポーツ・レクリエーション祭に障がい者も参加してモデルケースになるとよい。

⇒委員：団体において担い手がいなければ一緒にするとよい。横のつながりができるとよいと思っている

⇒委員：文化のお祭りにおいて、スポーツを案内するなどすると、横断的なつながりができるのではないか。

⇒委員：P19 情報発信の強化について、発信側が頑張ることで、つながりが生まれる。私が以前住んでいた地域では、若い人が多く、その視点で情報を発信している、引越先は高齢者が多く、ゆるく活動されている。

質問⑦ 委員：団体の共通課題は、人員不足、高齢化である。

新しい団体が入ることも考えているが、小郡市ではスケートボード、BMX、eスポーツはまだできない。スポーツ環境を整えていくことが大切。

運動公園ができて30年、ハード面をきちんと考えていなくては大変になっていく。老朽化したトイレを改修するなど利用しやすい施設にする必要もある。

⇒回答 事務局：予算を伴うので整備計画を立てていきたいと考えている。

質問⑧ 委員：新体育館のスケジュール、いつ建つのか？

予約システムの構築についてはいかがか？

⇒回答 事務局：新体育館については、新公共マネジメント推進課が担当しているのだが、担当課長が委員会の委員でもあるのでそこから説明する。

⇒回答：委員：予定であるが、現地建替であり、現体育館の西側にアリーナ棟を建設し、令和９年度にオープンする。その後、現体育館を壊して、その場所に多目的棟を建設し、令和１１年度にオープンする。

⇒回答 事務局：予約システムは、令和６年度または令和７年度導入に向けて取組んでいる。文化、コミュニティ施設を含めて一体的にシステムを作る。

質問⑨ 委員：社会体育は団体登録して、１体育館／団体利用というやり方は継続していくのか？

⇒回答 事務局：継続する。予約方法が変わり、登録をしたところのみが予約システムを利用できるように準備している。

質問⑩ 委員：市民に開放というところからすると、より使いやすい方法が必要である。社会体育についても登録せずに利用してもよいのではないか。

⇒回答 事務局：公共施設は多くの市民に開放する。一方、社会体育は学校施設を利用しているので、きちんと登録している団体に貸していく。

⇒回答 事務局：各学校の周辺に住むまたは勤める人が使用するのが良いと思っている。今後意見をもらいながらすすめていきたい。

質問⑪ 委員：「スポーツを通じて、年齢、性別や障がいの有無にかかわらず、参加者同士、参加者と支援者とのつながりを深めます。」と文章では表記されているが、１０年先を見据えた、ひとことで解かる「言葉」があったらいいのではないか？例えば、「ユニバーサルスポーツ」など。

⇒回答 事務局：この委員会で何か良い言葉があれば出していただきたい。

⇒委員からなし。

⇒回答 事務局：事務局で検討する。

（２）その他

委員：学校と地域の交流と連携、コミュニティスクールが大事。部活動も同様に考えられたらいい、関係団体と一緒に進めていきたい。小郡のスタイルを作り上げていかないといけないので、ぜひお願いしたい。

⇒回答 事務局：学校・地域・関係団体で各自、色々な意見があるため、まずは学校での意見交流の場を作られたらいいのではないかな。

3 今後の予定

第3回策定委員会 令和7年2月予定